



医療機関からの初診事前予約について

ぜひご利用ください



お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

FAX予約の場合

FAX : 03-5803-0119 (受付時間 8 : 30 ~ 16 : 00)



上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信します。

*土日祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)、および受診日当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。
*時間外・休日などのお申し込み分は翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受診は24時間可能)

電話予約の場合

TEL : 03-5803-4655 (受付時間 8 : 30 ~ 16 : 00)



上記番号に、電話をおかけください。その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・予約希望日をお知らせください。



メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。当院ホームページより医療連携支援センターにアクセスし、オレンジ色の「メルマガ申込」からご登録ください。

カルテ閲覧のご案内

当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

連携医療機関様の大きな負担なしで利用可能です

インターネットに接続できるパソコンが1台あればOK! 下記の要件を満たしていれば、既存の端末を使用しても構いません。



要件

- 1 インターネットに接続できる環境があること。また、PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
- 2 Microsoft Windows Vista/Windows 7 以上の動作環境にあるPCを使用すること。
- 3 Internet Explorer 7.0 以上が動作すること。
- 4 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。
- 5 PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader 10以上を使用すること。

★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます!

1. 申請書のご提出。
2. 提出頂いたのち、接続させて頂けるか検討いたします。
3. 決定後、順次連携医療機関様へ伺って、接続を行います。

※申込多数の場合は、利用するまでにお時間がかかる場合がございます。

カルテ閲覧システムの問合せ 医療情報部 03-5803-5131
連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391



JR東日本：中央線・総武線 御茶ノ水駅下車 御茶ノ水橋口(徒歩5分)
東京メトロ(地下鉄)：丸の内線 御茶ノ水駅下車東京医科歯科大学方面出口(徒歩1分) / 千代田線 新御茶ノ水駅下車 B1出口(徒歩7分)

東京医科歯科大学医学部附属病院 医療連携だより 13号 (平成29年3月発行)
発行 〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院医療連携支援センター TEL:03-5803-4655 FAX:03-5803-0119
<http://www.tmd.ac.jp/renkei/>

本書の無断複製(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。



医学部附属病院
Tokyo Medical and Dental University

医療連携だより



御茶の水通信

No.13

- 東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針
- 理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院
 - 目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655 (地域連携室) FAX: 03-5803-0119



財団法人日本医療評価機構 認定病院

平成28年度医療連携会が開催されました



医療連携支援センター長(病院長補佐) 泉山 肇



平成29年2月2日、地域医療機関の皆様のお力添えのもと「平成28年度医療連携会」を開催することができました。今年で4年目の開催となりますが、今年度は昨年を大幅に上回る100施設以上の医療機関様より200名を超える皆様にご参集頂き盛会のうちに終えることができました。心より御礼申し上げます。

今年度の講演会では本学医療経済学分野・川淵孝一先生より「地域包括ケア時代における医科歯科連携」についてご講演いただきました。地域完結型医療を実践するために、医療経済の側面より医師・歯科医師の連携の重要性をとともわかりやすくご講演頂きました。東京医科歯科大学には医学部附属病院と歯学部附属病院がございますが、両附属病院が病院機能分化を十分に認識した上で大学病院として相応しい診療を提供することがとても重要であるとあらためて認識致しました。

平成24年に医療連携支援センターが設立され、6年目を迎えます。医療連携とはただただ患者さんを紹介・逆紹介あるいは転院・退院調整することではなく、患者さんがより良い環境下でより良い医療を受けられるようサポートするために必要な手段と考えております。より充実したサポート体制を提供できるようセンター職員が一丸となって取り組んでまいり所存です。引き続き皆様からのご指導・ご支援そしてご協力を賜りますようお願い申し上げます。



医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談

TOPICS

- 医療連携支援センター長のご挨拶
- 医療連携会開催
プログラム・講演要旨・懇談会報告
- 初診事前予約方法・メールマガジン登録
- カルテ閲覧のご案内



医療連携会が開催されました

平成29年2月2日、第4回目となる平成28年度地域医療連携会が、東京医科歯科大学M&Dタワーで開催されました。14の医師会・歯科医師会・薬剤師会、および病院・クリニックなど、119の医療機関の関係者の皆様にご参加いただき、顔の見える交流が活発に行われ、日頃お世話になっている地域医療機関の皆様から、貴重なご意見を伺うことができました。

ご挨拶



理事・副学長(医療・国際協力担当)
田中 雄二郎

本年度も医師会・歯科医師会・薬剤師会の皆様をはじめ、多くの地域医療機関の皆様にご参集いただき大変有難うございました。お陰様で平成28年度地域連携会を昨年を上回る規模で盛会の中に終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。昨年に続き、医学部附属病院と歯学部附属病院の合同開催という形での開催となり、超高齢社会に求められる地域社会での「医科・歯科連携」の更なる強化について、たくさんのご意見を拝聴することができました。今後ともよろしくお願ひします。



講演

平成28年度地域医療懇談会 第一部 講演内容
「地域包括ケア時代における医科歯科連携」
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療経済学分野 教授
川淵 孝一



いわゆる団塊の世代が、75歳以上になる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が、一体的に提供される環境づくりを、厚生労働省が中心となって進めています。これは「地域包括システム」と称されるもので、このシステムを支える上でも、医療と歯科医療の連携が重要です。

しかしながら自らが全国1,200人を対象に行った国民調査では、医師から歯科、歯科から医師への紹介を受けた人は、2%台に留まっておりました。このような現状を見直しながら、地域包括ケアシステムの浸透が進む過程において、摂食・嚥下や訪問診療など、医科と歯科の「境界領域」での連携を強化することにより、医療の質的な向上と同時に、大幅な医療費の削減も可能であると考えます。

Program

日時 平成29年2月2日(木) 19時開会
場所 東京医科歯科大学 M&Dタワー

第1部

講演会 19時00分～
M&Dタワー2階 鈴木章夫記念講堂
司会 医学部附属病院医療連携支援センター長
泉山 肇(病院長補佐)
座長 医学部附属病院副病院長(地域連携担当)
下門 顕太郎
講演 本学大学院医歯学総合研究科医療経済学分野 教授
川淵 孝一
テーマ 「地域包括ケア時代における医科歯科連携」

第2部

懇親会 19時45分～
M&Dタワー26階 ファカルティラウンジ
司会 医療支援課長 工藤 晃
挨拶 医学部附属病院長 大川 淳
歯学部附属病院長 嶋田 昌彦

来賓紹介

浅草医師会 会長	佐々木 聡 様
荒川区医師会 学術担当理事	太田 誠一郎様
江戸川区医師会 会長	玉城 繁 様
小石川医師会 会長	須田 均 様
江東区医師会 会長	岡本 克郎 様
墨田区医師会 会長	市川 菊乃 様
中央区医師会 副会長	遠藤 文夫 様
千代田区医師会 会長	泉田 秀輝 様
豊島区医師会 会長	篠田 瑞生 様
日本橋医師会 会長	大辻 正高 様
文京区医師会 会長	金 吉男 様
東京都文京区小石川歯科医師会 会長	佐藤 文彦 様
東京都文京区歯科医師会 会長	三羽 敏夫 様

文京区薬剤師会 会長	岩橋 新司 様
乾杯 理事	田中 雄二郎

《ご歓談》

閉会挨拶 医学部附属病院医療連携支援センター長
泉山 肇

